

ハムスターをかいはじめたよ

二年 朝比奈滯

「かわいい。」

ペットショップでハムスターを見た。ぜんいんかわいかった。おかあさんにかいたいと言ったけど、おかあさんは、かってくれなかった。

その日から図書室でハムスターのことをたくさんしらべた。ハムスターのごはん、へやでいるもの、せいかく、おせわのし方、びょう気、二年くらいしか生きられないこと。わたしは、小学二年生だから四年生になったらしんでしまうことにびっくりした。かなしかった。それでもかいたかった。

おかあさんとやくそくした。一つ目、ちゃんとさいごまでおせわをすること。二つ目、やさしくすること、かわいがること。三つ目、ハムスターは二年くらいしか生きられないからまい日を大切にすること。

ハムスターをむかえた日、わたしは、ドキドキしていた。ハムスターは、白くてふわふわしていた。小さな心ぞうが早くうごいていた。名前は、おもちにした。おもちは、よくうごいて、すぐにげるし、かむ。だけどわたしのこえでおきてくる。おやつをあげると目がほそくなってさわらせてくれる。しんよう

してくれてうれしい。

これからもかわいがってそだてていきたい。おもちとのみじかい時間を大切に思い出をつくっていききたい。